

## 技術士業務研究会／2021年（令和3年）11月度例会

★開催日時：2021年（令和3年）11月12日（金） 19:00～21:30

★開催場所：ZOOM を使った Web 例会につき、各自の PC 等でご参加願います

★開会挨拶（19:00～19:05） 部会長 細谷 陽三（金属）

### ★講演

講演 1 （19:05 ～ 20:10）（講演 50 分、質疑応答 15 分）

【ご講演タイトル】：

『 MOT の視点から日本の化学産業の発展の推移と直面する課題 』

博士（工学） 元(株)ダイセル 常務取締役 渡加 裕三 氏

【ご講演概要】

MOT 理論（技術経営 Management of Technology）は世界の製造業で圧倒的な競争力を持っていた 1970 年代のアメリカで端を発し日本などの海外諸国の攻勢で衰退傾向が懸念された 1980 年代に盛んになった。その結果、1990 年代にアメリカ経済が復興し情報通信技術（ICT）、バイオやナノテクノロジーなどの分野で著しい成果を上げ、正しくベンチャー主導型の MOT が結実したと言われている。一方、1990 年前後に世界のトップクラスだった日本の国際競争力はここ 30 年で著しく低下し未だ浮上の糸口も掴めず「失われた 30 年」と揶揄されている。この 30 年で世界および日本の化学産業において何が起こったのか、プロダクト（あるいは事業）ポートフォリオマネジメント力の差異など直面する課題を中心にお話をする。

講演 2 （20:15 ～ 21:20）（講演 50 分、質疑応答 15 分）

【ご講演タイトル】：

『 SDGs と森林利用 』

技術士（農業、森林、総合技術監理部門） 三嶋 陽治 氏

【ご講演概要】

陸上の約 4 割を占める森林の持続可能な利用は SDGs の目標達成において極めて重要な要素です。SDGs 目標に関して、森林との関連が一目瞭然なのは、「目標 15：陸の豊かさを守ろう」ですが、この他にも多くのゴール目標において森林の保全と持続可能な利用が関係しています。森林と SDGs の他のゴールとの関連と共に、SDGs と森林利用について掘り下げてみたいと思います。

### ★業務研究会連絡事項

☆Zoom による Web 例会参加方法

①「Zoom」アプリをインストールしているカメラ・マイク・スピーカー付の PC またはスマホ・タブレットをご準備ください。

②参加者に事前に送付する招待メールにある「長い URL」をクリックすれば、会議に参加できます。

◇講演会参加費 会員：無料 非会員：500 円 パスポート保持者：無料

例会後に請求書（振込先・振込方法を記載）を送付いたします。

支払期限：月末 振込手数料：自己負担

◇申込 下記 HP からお申し込み下さい。メールでの申し込み不可。

業務研 HP <https://sites.google.com/site/gyoumuken/>

## 【講師の経歴】

講師氏名：渡加 裕三（とが ゆうぞう）

### 【経歴】

出身 1940年12月東京生まれ、島根県出雲市育ち

学歴 1964年 大阪大学工学部応用化学科卒業

1966年 同上大学院工学研究科応用化学専攻博士前期課程修了

職歴 1966年 (株)ダイセル入社、技術輸出、ドイツ駐在(5年間)、機能性高分子材料の研究(科学技術庁長官賞受賞)などに従事、取締役高分子事業開発室長、常務取締役企画開発本部長などを務めて2004年同社を退職、その後、YTテクノフロンティア(個人事業 技術コンサルティング)を起業、(株)フジシールインターナショナル技術顧問および社外取締役、京都工芸繊維大学大学院非常勤講師(7年間)などを歴任、2017年から(公財)フジシール財団 奨学生及び研究助成事業選考委員長 現在に至る

資格 博士(工学)(論文博士 大阪大学)

著書 改訂版「化学産業を担う人々のための実践的研究開発と企業戦略」(2017年4月 化学工業日報社)他、今回の講演に関する書籍として、(一社)近畿化学協会 MOT研究会編著(部分執筆)「化学産業における実践的MOT-事業化成功事例に学ぶ」(2018年10月 化学工業日報社)がある。

## 【講師の経歴】

講師氏名：三嶋 陽治（みしま ようじ）

<学歴>

1982年3月 京都府立大学農学部卒

<職歴>

1982年4月 京都市役所に入庁

●森林の保全整備に係る計画及び技術の普及

●林道・治山等の森林土木施設、水路・ため池・堰等の農業水利施設、都市公園施設(建築・設備を除く)の保全整備に係る調査・計画及び設計積算・施工監理

●農村地域の振興・活性化とイベントの企画運営等に携わる。

2017年4月 早期退職しLSAF技術士事務所、LSAF三嶋農園を設立。

2021年6月 LSAF技術士事務所を法人化

●現在持続可能な森林利用、農業の広がりを目指し、コンサルタントと農園経営を行っている。

<専門分野>

●地域生態系に配慮した森林の保全整備に関する調査・計画

●地域生態系・農村環境に配慮した森林土木施設及び農業水利施設の調査計画、設計積算・施工監理

●公園施設(建築・設備を除く)の調査計画及び設計積算・施工監理

<所属学協会>

日本技術士会(近畿本部、農林水産部会)、大阪技術振興協会、森林部門技術士会、京都技術士会、京都森林インストラクター会等

<資格>

技術士(農業、森林、総合技術監理部門)、森林インストラクター、農業機械士、特管産業廃棄物管理主任者等

<趣味>

植物(特に樹木)の識別、園芸、旅行など

以上